

横浜市が第1位！

「人気の観光地にアクセスしやすいエリア」

「センスがよい」「デートスポットに困らない」「レジャーに困らない」も1位の横浜市は「アクティブに上質な暮らしを楽しむ街」として注目！

～ 一都三県 38 エリアに関する意識調査 ～

横浜エリアの住宅や不動産を紹介する総合サイト「横浜スタイル (<https://yokohama-style.jp/>)」を運営する株式会社日京ホールディングス（横浜市中区：代表取締役 八幡政幸）は、本人もしくは配偶者が山手線内および近郊で働く25～44歳の男女400人に、一都三県における38エリアに関する意識調査を実施しました。

その結果、【横浜市】が「人気の観光地にアクセスしやすい」という項目において、38エリアで1位となりました（56.0%）。路線数11本の「横浜駅」（乗り入れ鉄道会社数日本一）や東海道・山陽新幹線が通る「新横浜駅」を有しており交通の便がよい横浜市ですが、路線数14本で日本一を誇る「新宿駅」を有する新宿区、全国でもトップクラスの路線数10本である「渋谷駅」を有する渋谷区など、名だたるエリアを抑えて1位となりました。25～44歳という観光地およびそのアクセスへの関心が高いであろう世代に行った調査で【横浜市】が1位となったことから、今後も交通の便がよい街として注目が集まりそうです。

<今回の対象エリア（一都三県 38 エリア）>

① 港区	⑳ 文京区
② 新宿区	㉑ 豊島区
③ 品川区	㉒ 北区
④ 目黒区	㉓ 板橋区
⑤ 大田区	㉔ 東京都 北多摩エリア（調布市、三鷹市、立川市など）
⑥ 世田谷区	㉕ 東京都 南多摩エリア（町田市、八王子市など）
⑦ 渋谷区	㉖ 東京都 西多摩エリア（あきる野市、青梅市など）
⑧ 中野区	㉗ 横浜市
⑨ 杉並区	㉘ 川崎市
⑩ 練馬区	㉙ 相模原市
⑪ 台東区	㉚ その他 神奈川県内
⑫ 墨田区	㉛ 千葉県 京葉エリア（浦安市、市川市、船橋市など）
⑬ 江東区	㉜ 千葉県 東葛エリア（松戸市、柏市、我孫子市など）
⑭ 荒川区	㉝ 千葉市
⑮ 足立区	㉞ その他 千葉県内
⑯ 葛飾区	㉟ 埼玉県 南西部エリア（和光市、朝霞市、新座市など）
⑰ 江戸川区	㊱ 埼玉県 南部エリア（川口市、蕨市、戸田市）
⑱ 千代田区	㊲ さいたま市
⑲ 中央区	㊳ その他 埼玉県内

Q.『人気の観光地にアクセスしやすい』と思うエリアをお答えください。(MA) 【上位10エリア、全体】



また、今回の調査において横浜市は「人気の観光地にアクセスしやすい」という項目以外にも「センスがよいエリア」、「デートスポットに困らないエリア」、「レジャーに困らないエリア」、という3つの項目でも1位となりました。

調査トピックス

- ① 「人気の観光地にアクセスしやすい」は男女・世代別でも圧倒的1位の横浜市！
- ② 「センスがよいエリア」としても高評価の横浜市！
- ③ 「デートスポットに困らない」も横浜市がトップ！昼も夜も一日中楽しめる
- ④ 「レジャーに困らないエリア」で群を抜いた横浜市！市内だけでも大満足

① 「人気の観光地にアクセスしやすい」は男女・世代別でも圧倒的 1 位の横浜市！

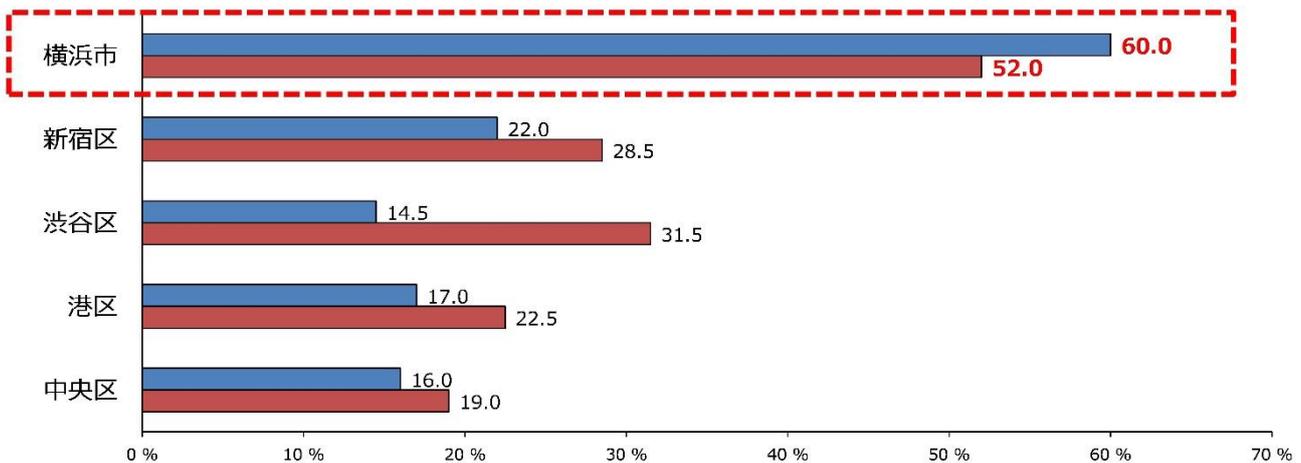
「人気の観光地にアクセスしやすいエリア」の結果を男女別で見ると、男性が 60.0%、女性が 52.0%で男女ともに横浜市が 1 位でした。また、世代別で見ても 25～29 歳が 49.0%、30～34 歳が 63.0%、35～39 歳が 56.0%、40～44 歳が 56.0%で横浜市が 1 位となりました。男女別・世代別で見ても、2 位と 20 ポイント以上の差をつけています。

この結果から、男女や世代を問わず、「人気観光地へのアクセスしやすいエリア」として圧倒的に高い評価を得ていることが見てとれます。

Q. 『人気の観光地にアクセスしやすい』と思うエリアをお答えください。(MA)

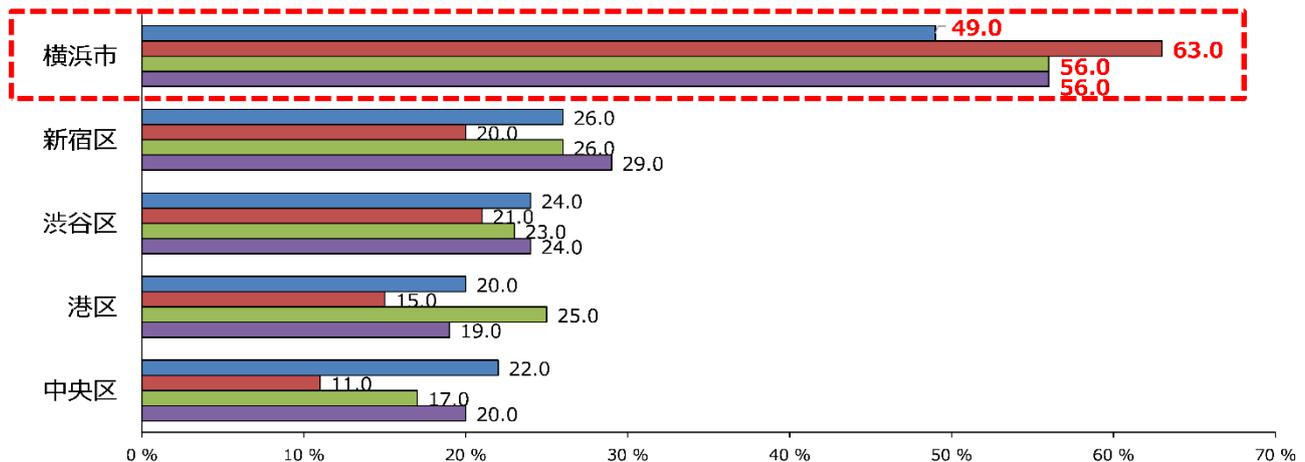
【上位 5 エリア、男女】

■ 男性(n=200) ■ 女性(n=200)



【上位 5 エリア、世代】

■ 25～29歳(n=100) ■ 30～34歳(n=100) ■ 35～39歳(n=100) ■ 40～44歳(n=100)



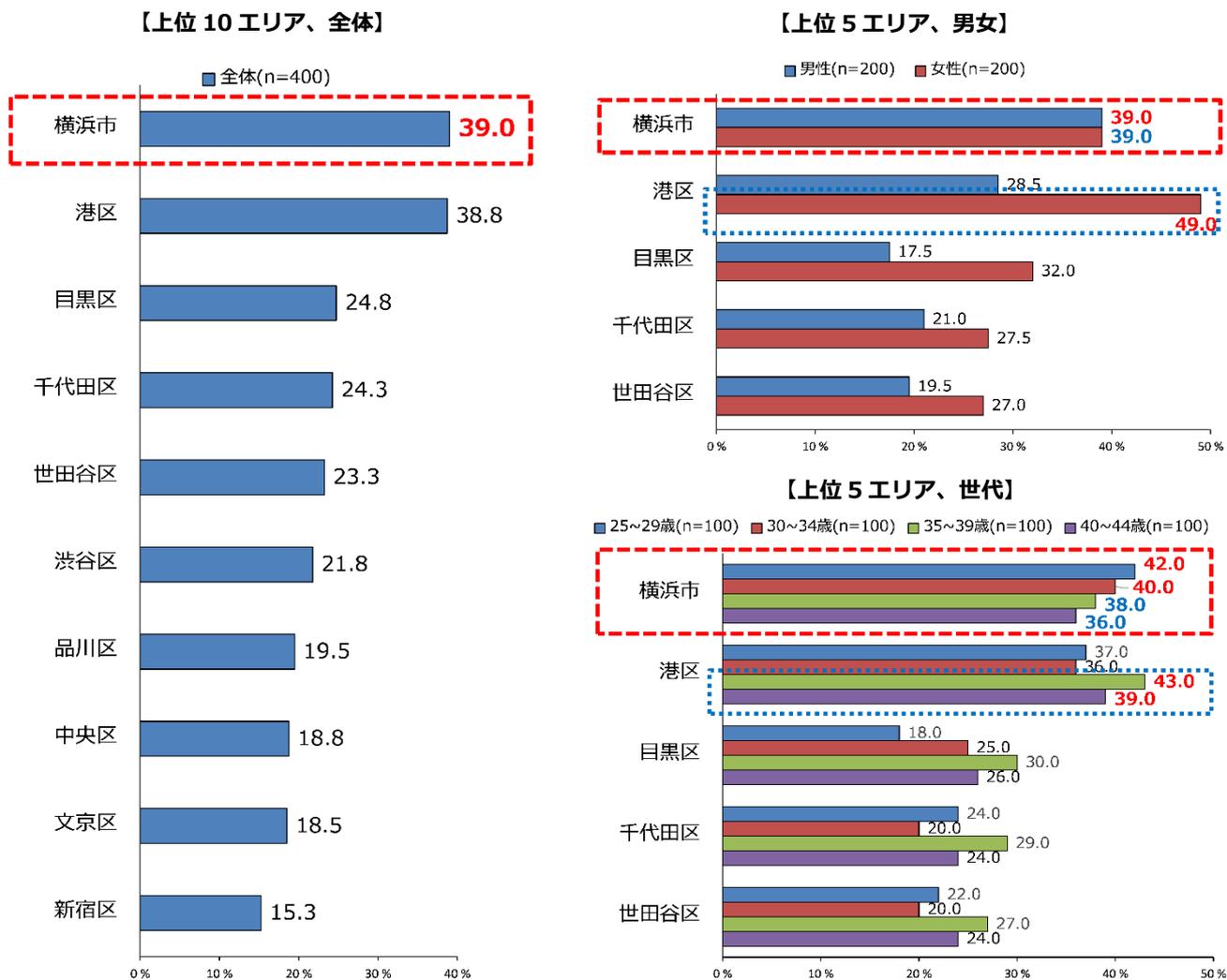
東海道新幹線沿線の「熱海」や「名古屋」、「大阪」などの「新横浜駅」以西の観光地へのアクセスはもちろん、歴史的遺産や自然に囲まれた「鎌倉・江の島エリア」などの人気観光地へのアクセス、横浜市内でも特に有名な「中華街・元町エリア」や「みなとみらいエリア」を巡ることができる観光スポット周遊バス「あかいくつ」などによるアクセスなど、便利な交通機関があることが高い評価につながったのかもしれない。

② 「センスがよいエリア」としても高評価の横浜市！

「センスがよいエリア」の結果を見てみると、全体では横浜市が 39.0%で 1 位となりました。男女別で見ると、男性が 39.0%で 1 位、女性が 39.0%で 2 位でした（1 位は港区 49.0%）。女性からの人気が高かった港区とは異なり、横浜市は男女に差がなく選ばれていることが見てとれます。

また世代別で見ると、25～29 歳が 42.0%、30～34 歳が 40.0%でいずれも 1 位、35～39 歳が 38.0%、40～44 歳が 36.0%でいずれも 2 位となりました（1 位は港区でそれぞれ 43.0%、39.0%）。35～44 歳という比較的年層の高い方が港区を選んでいるのに対して、25～34 歳という若年層が横浜市を選んでいることから、次世代の「センスがよいエリア」として横浜市の期待が高まっていると言えるかもしれません。

Q. 『センスがよい』と思うエリアをお答えください。(MA)



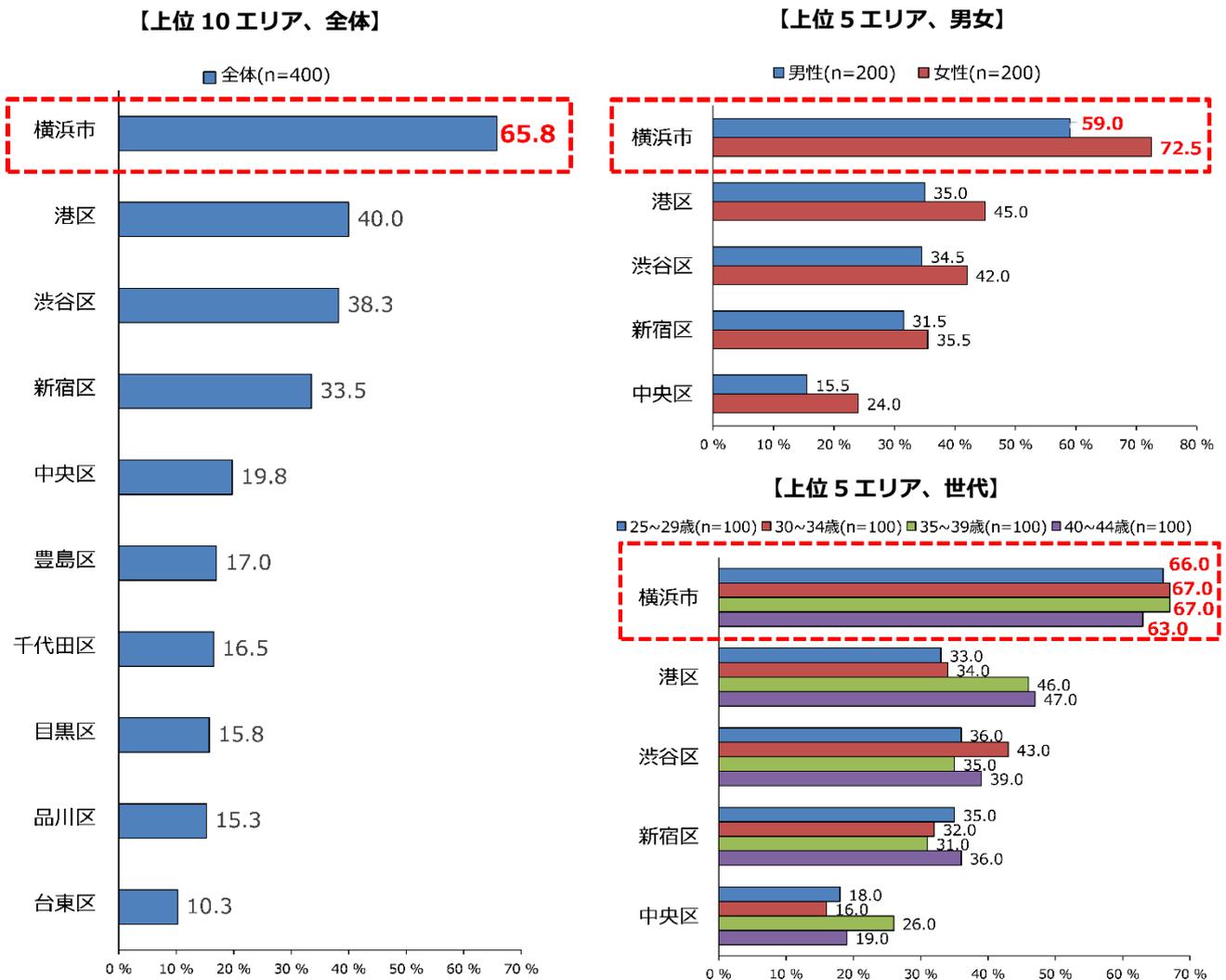
きれいな海と雰囲気ある遊歩道、立ち並ぶ近代的な高層ビルやマンション、「赤レンガ倉庫」などの歴史を感じるスポット、それらがライトアップされた夜景が魅力的な「みなとみらい」エリアなどを有していることが、今回の結果につながったのかもしれません。

③ 「デートスポットに困らない」も横浜市がトップ！昼夜一日中楽しめる

「デートスポットに困らないエリア」の結果を見ると、全体では横浜市が65.8%で1位となりました。男女別で見ると、男性が59.0%、女性が72.5%で、いずれも横浜市が1位でした。また世代別で見ても、25～29歳が66.0%、30～34歳が67.0%、35～39歳が67.0%、40～44歳が63.0%で、いずれの世代でも1位でした。

東京ミッドタウンや六本木ヒルズがある「六本木」、雰囲気の良いお店が並ぶ「麻布」や東京のシンボル「東京タワー」など有名なデートスポットがある港区、おしゃれな街並みの「表参道」や「代官山」がある渋谷区、老舗デパートや映画館、話題の飲食店が多数ある新宿区など、人気の高いエリアを抑えて横浜市が1位となったことから、「デートスポットに困らないエリア」として高い評価を得ていると言えます。

Q. 『デートスポットに困らない』と思うエリアをお答えください。(MA)



横浜市には、グルメスポットである「横浜中華街」、レトロな雰囲気を醸し出す「赤レンガ倉庫」、眼下にきれいなライトアップを楽しめる「ランドマークタワー」など、昼も夜も一日中楽しめるデートスポットが集まっていることから今回の結果につながったのかもしれませんが。

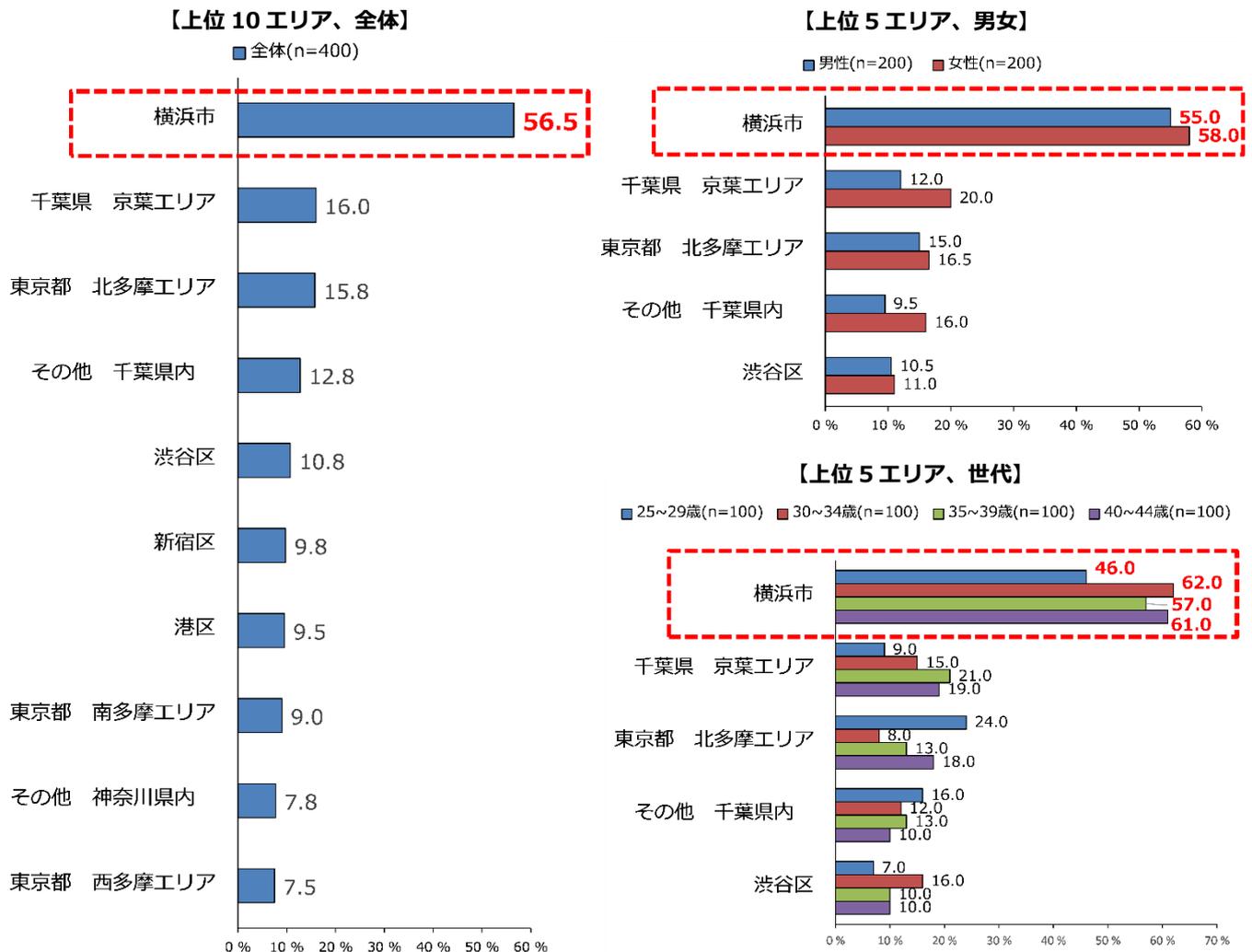
昨年10月末にオープンした食をテーマとする複合施設「横浜ハンマーヘッド」に続き、6月には「三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド」がリニューアルオープンし、また2021年には桜木町駅前と新港ふ頭とを結ぶロープウェイが開業予定など、横浜市の新たなデートスポットの誕生にも注目が集まりそうです。

④ 「レジャーに困らないエリア」で群を抜いた横浜市！市内だけでも大満足

「レジャーに困らないエリア」の結果を見ると、全体では横浜市が 56.5%で 1 位となり、2 位の 16.0% (千葉県京葉エリア) と 40 ポイント以上の差をつける結果となりました。男女別で見ると、男性が 55.0%、58.0%といずれも 1 位でした。世代別で見ても、25~29 歳が 46.0%、30~34 歳が 62.0%、35~39 歳が 57.0%、40~44 歳が 61.0%で、いずれの世代でも横浜市が 1 位となりました。

男女別・世代別の 2 位以下を見ると、それぞれで順位にバラつきが見られました。そのなかで横浜市が圧倒的に 1 位となっていることから、「レジャーに困らないエリア」として国内有数の評価を得ていると言えるのかもかもしれません。

Q. 『レジャーに困らない』と思うエリアをお答えください。(MA)



一都三県で「レジャーに困らないエリア」として、レジャー施設日本 1 位を誇る「東京ディズニーリゾート」がある千葉県の京葉エリア、さまざまなアクティビティが楽しめる多摩川沿いや「国営昭和記念公園」などがある北多摩エリアも人気ですが、横浜市は水族館・遊園地・ショッピングモールなどを含む複合型海洋レジャー施設「八景島シーパラダイス」、最寄り駅から徒歩数分の遊園地「よこはまコスモワールド」、市内合計で横浜スタジアム約 600 個分に相当する公園面積を保有しており、レジャースポットが多数あることが高い評価を得ることにつながったのかもかもしれません。

今回の調査で横浜市が、人気観光地へのアクセスがよく、センスもよく、デートやレジャーに困らないエリアであると認知されていることがわかりました。25~44 歳というアクティブで上質なライフスタイルを最も望むであろう世代から選ばれたということもあり、今後も横浜市に注目が集まりそうです。

<施設参考リンク>

あかいくつ（周遊バス）：<https://www.welcome.city.yokohama.jp/transit/akaikutsu/>
横浜中華街：<https://www.welcome.city.yokohama.jp/chinatown/>
赤レンガ倉庫：<https://www.yokohama-akarenga.jp/>
クイーンズスクエア横浜：<https://qsy-tqc.jp/>
ランドマークタワー：<https://www.yokohama-landmark.jp/>
横浜ハンマーヘッド：<https://www.hammerhead.co.jp/>
三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド：<https://mitsui-shopping-park.com/mop/yokohama/>
八景島シーパラダイス：<http://www.seaparadise.co.jp/>
よこはまコスモワールド：<http://cosmoworld.jp/>

<調査概要>

調査方法：インターネット調査

調査期間：2019年10月15日(火)～16日(水)

調査対象：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県在住の25歳～44歳 合計400名
(25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳の男女各50名)

本人もしくは配偶者が、山手線内もしくは山手線から10分程度の職場に勤務

■企業概要

日京ホールディングスは2006年12月に横浜で設立された不動産事業会社です。運営する不動産仲介業「横浜スタイル」では開業当初から自社ウェブサイトによる物件情報提供に注力し、各不動産ポータルサイトと合わせインターネット集客を主力としたユニークなビジネスモデルを確立しています。横浜市を中心とする神奈川県エリアの物件に強みを持ち、購入・売却などお客さまの要望にお応えします。

横浜スタイルが運営する不動産物件ウェブサイト(<https://yokohama-style.jp/>)では会員数25,000以上を抱え、販売物件数は常時2,000程度を用意しています。

株式会社日京ホールディングス (NIKKEI HOLDINGS Inc.)

設立：2006年12月

資本金：54,070,000円

代表者：代表取締役 八幡 政幸

本社：横浜市中区本町4-43 A-PLACE 馬車道4F

公式ウェブサイト：<https://nikkei-hd.jp/>